

平成 28 年 7 月 19 日
一般社団法人 日本船主協会

自動車運搬船“NIPPON HIGHWAY” 船内見学会を実施

当協会では、海運の重要性を広く一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。

今年度も昨年度に引き続き、政府と日本財団が中心となり、7月中旬から8月下旬にかけて『海と日本プロジェクト』として多様な行事が予定されており、当協会も「船ってサイコ～2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と題して、船内見学会をはじめ、様々なイベントを開催して参ります。

今般、その一環として、7月19日（火）に愛知県豊橋市三河港明海埠頭において、県下の小学6年生を招き、川崎汽船株式会社の自動車運搬船“NIPPON HIGHWAY”の船内見学会および、フォルクスワーゲングループジャパン株式会社の輸入車整備施設であるテクニカルサービスセンターの見学会を実施いたしました。



当日は見学会に先立ち、小学校において藤澤船長から船に関する説明等を行い、明海埠頭に移動して欧州からの輸入完成車約2,000台を揚げ荷役中の”NIPPON HIGHWAY”見学会を行いました。小学生からは「船酔いしないのか」、「(救命艇を指さし)あの潜水艦の様な船は何か」等の質問がありました。また、テクニカルサービスセンターでは納車前整備の様子も見学しました。



生活に身近な自動車の海上輸送から輸入・整備に至る過程に触れることで暮らしを支える海運の役割への理解が深まったものと思われます。当協会では、今後も全国各地で様々なイベントを開催し、皆様に海運を広く知って頂くための活動を実施して参ります。